



# ほうない

第5号  
 村上市立保内小学校  
**強い心 豊かな心**  
 〒959-3107  
 村上市下鍛冶屋264-2  
 TEL0254-62-2302  
 FAX0254-62-5553

子どものやる気を育てる

校長 須貝 学

四年生が総合的な学習の時間  
 に、荒川の現地調査に行つてき  
 ました。前日までに降つた大雨  
 の影響で川の水が増水していた  
 ため、川に足を入れることがで  
 きず、川岸から水の中や岸辺の  
 様子を見るだけでした。それで  
 も子どもたちは、川の中に手  
 入れて水の冷たさを感じたり、  
 水の中の生き物を見つけようと  
 興味深く岸辺や水中に目を向け  
 たりしていました。カワガニや  
 大きなウシガエルを見つけた時  
 には、宝物でも見つけたかのよ  
 うに子どもたちが声を上げて喜  
 び、友達と声を掛け合つて観察  
 していました。

このように予期せず目の前に  
 現れる動植物など自然の事象に  
 は、子どもたちの心を揺さぶる  
 大きな力があることに、また、  
 本物には写真や映像にはない、  
 魅力や迫力があることにあらた  
 めて感心しました。

子どもたちの学習意欲に直結  
 する「やる気」を育てるには、

このような自然体験や動植物と  
 の関わりをたくさん経験させる  
 ことが大切だ、という研究報告  
 があります(国立青少年教育振  
 興機構「子どもの体験活動の実  
 態に関する調査研究」)。自然の  
 中には、子どもにとって本能的  
 に不思議だと感じるものがたく  
 さんあります。温度、におい、  
 触感、音など、五感で感じられ  
 るものの宝庫でもあります。自  
 然の中でいろいろなことに対し  
 て驚いたり、不思議に思つたり  
 する「感性」を刺激することで、  
 さまざまなことに興味をもち、  
 「もっと知りたい」「やってみ  
 たい」「できるようにになりたい」  
 という「やる気」が自発的に育  
 つそうです。

コロナ禍にあつた一学期は、  
 見学や調査など多くの校外学習  
 ができませんでした。そんな時、  
 四年生が荒川の体験活動で生き  
 生きとした表情を見せてくれま  
 した。校外や地域に出て行つ、  
 自然体験などの体験活動の重要  
 性を再確認できました。